

平成 30 年 12 月 21 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

エンタイビオ点滴静注用 300mg (消化器内科)

- 薬効： ヒト化抗ヒト $\alpha 4 \beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体製剤
申請理由： IBD 新規治療薬。 $\alpha 4 \beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体製剤として同種薬はない。既存の治療薬に抵抗性を示す UC 患者へ使用予定。
採用中止薬剤： なし 【用事購入】

プラルエント皮下注 150mg ペン (循環器内科) 【院外限定】

- 薬効： 高コレステロール血症治療剤
申請理由： PCSK9 という体内物質に結合し、この物質の働きを阻害することで、LDL コレステロール値を下げる作用をあらわす薬。今回、スタチン不応例に対して、150mg 4 週に 1 回の適応取得し、その不応例に対して使用予定。
採用中止薬剤： なし

トラディアンズ配合錠 AP (糖尿病センター) 【院外限定】

- 薬効： 選択的 SGLT2 阻害薬/胆汁排泄型選択的 DPP-4 阻害薬配合剤
申請理由： SGLT2 阻害薬 (ジャディアンス) と DPP-4 阻害薬 (トラゼンタ) の配合剤。両剤とも有益なエビデンスを有し、服薬錠数の減少によるアドヒアランスとそれによる治療効果の向上が期待でき、また患者薬剤費負担の軽減につながる。
採用中止薬剤： なし

ベージニオ錠 50mg/100mg/150mg (外科センター) 【院外限定】

- 薬効： 抗悪性腫瘍剤 CDK 4 及び 6 阻害剤
申請理由： 本剤は従来のホルモン療法よりも有効性が高い。(無増悪生存率、奏効率が高い。) 同種の薬剤と比較し副作用の種類が異なる。既存薬剤の無効例に対して使用予定。
採用中止薬剤： なし

ヒルドイドフォーム 0.3% (皮膚科) 【院外限定】

- 薬効： 血行促進・皮膚保湿剤
申請理由： ヒルドイドソフト軟膏にくらべて油分を含まないためベタつきが少なくさっぱりとした使用感で小児や分子標的薬使用中のパートナーなど広範囲に外用するのに適している。
採用中止薬剤： なし

② 剤形変更医薬品

エフィエント錠 20mg → エフィエント OD 錠 20mg

③ 製造中止医薬品

メーカーより、製造中止の連絡がきました。

中止薬：フランセチン T パウダー（残り 1 本です）

代替薬：ソフラチュール貼付剤

④ DLST（リンパ球刺激試験）

臨床検査室へ DLST の用紙（SRL）の用紙を提出されるかと思えます。

その用紙を持ってきてもらえれば、薬剤を払い出します。

⑤ 使用成績調査について

調査区分：特定使用成績調査（全例調査）

医薬品名：ゼルヤンツ錠 5 m g

調査目的：製造販売後の使用実態下において、潰瘍性大腸炎患者にゼルヤンツ錠（XEL）を長期間投与した場合の安全性および有効性について検討する

調査期間：2018 年 5 月～2021 年 6 月（3 年 2 ヶ月間）

登録期間：2018 年 5 月～2020 年 4 月（2 年間）

登録期間満了、もしくは、目標症例数に達した時点で登録受付終了

観察期間：契約締結日 ～2022 年 4 月（原則、再審査期間終了日まで）

登録予定数：全例

調査責任医師：廣岡 知臣

調査分担医師：高柳 成徳 武田 修身 間島 行則 佐藤 寿行

以上